



行動しよう・前進しよう！ Weekly Report

2016-17 年度 第 15 号

第 2298 回例会

11 月 ロータリー財団月間

日 時：平成 28 年 11 月 2 日（水）

会 場：例会場

司 会：SAA

開会点鐘

斉 唱：国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

四つのテスト

お客様の紹介

会長挨拶

11 月に入り大分涼しくなってきました。11 月は国立で御祝やイベントが多くあります。七五三や天満宮のおかがら火が 3 日、4 日からは天下一・一橋祭、そして市民祭と続きます。クラブでは市民祭のテントで綿あめ、歩行者天国内の車道でミニバルーンを行います。初めての試みですので、是非会員の皆様のご協力をお願いしたいと思っております。

幹事報告

●第 5 回「RYLArian の集い」開催 およびロータリアン参加のお願い

日時 12 月 4 日（日）14 時

場所 第一部 新橋会議室・第二部 カスピタ新橋

参加される方は事務局にお申込みください

●第 40 回塞の神どんと焼き実行委員会の開催

日時 11 月 16 日（水）19 時

場所 谷保天満宮 社務所

出席 杉田社会奉仕委員長

委員長報告

●杉田社会奉仕委員長

11 月 6 日（日）くにたち秋の市民まつり「直前のお知ら

本間委員長

内山会長

内山会長

内山会長

喜連（元）幹事

せ」を配布。（パレード・綿菓子の販売・ミニバルーンそれぞれの集合場所等の連絡）。場所が 2 か所で離れていてご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いをします。例会は 9 日の例会振替です。

クラブフォーラム

理事会報告

内山会長

●指名委員の選出について

12 月に開催される年次総会で、次年度の副会長および役員・理事を選出しなければなりません、その候補の指名をする指名委員会のメンバーを発表いたします。（クラブ運営規定第 1 条②に従う）内山会長、喜連幹事、小澤谷守エレクト、寺澤副幹事、（会長経験者）関重寿会員・木島会員、（幹事経験者）本間会員・遠藤常臣会員・（5 年以上在籍者）佐伯会員、（5 年未満在籍者）千葉会員の 10 名が指名委員会のメンバーとして承認されました。例会後に第 1 回目の指名委員会を開催し、指名委員長を決定いたします。（第 1 回指名委員会において、指名委員長には木島会員に決定）

●年忘れ家族例会について

伊藤親睦活動委員長

12 月 21 日（水）パレスホテル立川にて 18 時点鐘です。アトラクションは歌とトークショーですので、楽しい夜になると思います。多くのご参加をよろしくお願いたします。

●2016 年度 慶事のお祝いについて

年忘れ家族例会にてお祝いをいたします。該当者の 10 名の方にはそれぞれご案内をいたします。

●クリーン多摩川について

今年度からは自由参加といたしましたが、協賛金の 5 千円は支出いたします。



RI 第 2750 地区 多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ

会長 内山健治 幹事：喜連元昭

例会日：毎週水曜日 例会場：谷保天満宮社務所 2 階 東京都国立市谷保 5209

事務所：東京都国立市谷保 5234-1 TEL:042-575-0770 FAX:042-572-8666

E-MAIL: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB: http://kunitachi-rc.com/

会報委員：大庭敏也・秋廣道郎・遠藤常臣・伊藤達弥

今月の各種お祝い

伊藤明親睦活動委員長

■入会記念月

稲村喜美子 会員 (在籍 10 年)

■会員誕生月

杉田和男 会員 (28 日)

内山健治 会員 (24 日)

■夫人誕生月

秋廣会員夫人・康子様

北島(正)会員夫人・緑様



11 月誕生月の
内山会長と杉田会員

ニコニコBOX

高柳親睦活動委員

●**内山会長** 先日の日曜日、孫の七五三の御祝を天満宮にて行いました。天満宮のご利益で健やかに育つことを願っています。11/6 の市民まつりでは、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。誕生日の御祝ありがとうございました。

●**喜連元昭幹事** 秋を通り越して急に冬が到来した感があります。お互い風邪など引かぬ様身体には呉々も気を付けましょう。

●**津戸会員** 明日は当天満宮の恒例 庭燎祭(通称)おかがり火です。この火にあると無病息災といわれて居ります。又「国立の自然と文化を守る会(会長杉田和男会員)」が煮団子を無料でふるまわれます。御家族様お揃いでお出かけ下さい。

●**宗村会員** 秋に実る柿、フユ柿とは、庭の柿の木に鳥々が騒いでいます。

●**杉田会員** 今月 11 月は、結婚記念と誕生月です。今後共宜しく願います。

●**秋廣会員** この度は 10 月の結婚記念と 11 月の妻康子の誕生日のお祝いをダブルで頂き、感謝しております。妻の誕生日の 11 月 15 日から、私の誕生日 12 月 12 日までの間は、妻と私は同じ年となります。もともと精神年齢では負けておりますので、この時期は特に頭が上がらないこととなります。日々反省し、3 年後の金婚式は感謝を込めてひと工夫するつもりです。

●**北島正典会員** 妻 緑のお誕生祝いありがとうございます。末永くやっていきたいと思っております。

ニコニコ BOX 合計 27,000 累計 711,000 円

出席報告

遠藤(直)出席奨励委員長

11 月 2 日 在籍 47 中 出席 38 名

前々回(10 月 19 日) の出席率 97.67%

閉会点鐘

内山会長

第 2299 回例会

第 47 回市民まつりに、東京国立ロータリークラブはクラブの存在を示そうと、市民パレード、綿菓子、ミニバルーンのイベントで参加しました。当日は、素晴らしい秋空の下、天下一・一橋祭合わせ 10 万人を超える人出だったようです。

当日は、社会奉仕委員はじめ多数の会員が準備に参加、綿菓子の準備はパレードの前に完了。パレードは、プラスバンドのすぐ後だったので心身が引き締まったのかシャキッと歩きました。ミニバルーンの準備は、パレードの後大学通りが歩行者天国になってからでしたが、強風となりマット代わりの発砲スチロールボードが飛んでしまったり割れてしまったりで四苦八苦しましたが、時間通りにスタートできました。

綿菓子には開始間もなくから子供たちが並ぶ大盛況。最初、綿菓子作りに慣れていなかったため、なかなか形が整わず頭と手を悩ましながら・・・徐々に形が整ってきました。子供たちが常に 10 人以上並んで、途切れることなく市民まつり終了時間前の 2 時半にはザラメの在庫がなくなり 500 本で終了となりました。

ミニバルーンも、並ぶ子供たちが途切れることなく、バルーンの中で大はしゃぎ。さくらフェスティバルのジャンボバルーンとは一味違った楽しさだったようです。

また、第 2299 回例会(移動例会)は、11 時点鐘、34 人の出席でつつがなく行われました。

秋晴れの一日、市民の皆様には社会奉仕団体・東京国立ロータリークラブの存在を示すことができ、とても良い企画となりました。社会奉仕委員の方々をはじめ、参加された会員の皆様、ご苦労様でした。

市民パレードに参加(大学通り)





ミニバルーンには、子供の並ぶ列が続いていました
(大学通り)



綿あめ作りに慣れる迄大変でした！盛況で良かった！
←準備も大変

会員情報コーナー

宗村勝三

一般的慣習として、社寺に寄付することを浄財と言われております。わたくしたちのクラブ例会場においてもニコニコボックスという彫刻で飾られた「箱」が置かれております。回数・金額の大小に関係無く、クラブ会員の日常の知識や生活情報、ご意見、近況のコメント等を添えて、ニコニコボックスに投函して発表されるものです。文字や文面の良し悪しは気にせず、蓄積されて貴重な催事に使用することが基本とされております。代筆や連名、委員会名等でのニコニコボックスへの寄与は「クラブの浄財」と言えるに「一考」の余地があると思われまます。

課題

- ・ニコニコボックスの目的や意義が会員に理解されているか
- ・ニコニコボックスへの行為がクラブ会員全員で公平に実施されているか
- ・ニコニコボックスで集まった善意が予算の一部として既に組み込まれていることの是非

■おかがら火と煮団子

岡本 貞雄

谷保天満宮の神事「おかがら火」が11月3日、拝殿前で行われた。

おかがら火（庭燎祭）は谷保天満宮が養和元（1118）年11月3日に、府中の天神島から遷座した際、篝火を焚いた故事にちなむものと伝えられている。あるいは、古くから三郎殿の祭りがあり、後に遷座が行われ、篝火の神事が加わったとも伝えられている。

昔は子ども中心の神事で、上谷保、下谷保に分かれて集めた薪を、2基の薪山にして、御幣がついた薪束（三把・さんば）が先に燃え落ちるのを競ったそうだ。

また、おかがら火に集まった人たちに振舞われる煮団子（にいだんご）は評判がよく、毎年楽しみにしている人も多いようだ。

国立の自然と文化を守る会（杉田和男会長）が、平成4年から始めた煮団子の作業は、永年の経験から各自仕事を分担して実に手際が良い。当日の午前9時に杉田会長宅に集合して、里芋、ゴボウ、大根、ネギを調理。力のいる団子作りは男性が担当する。

下準備が済むと、機材や食材を天満宮へ搬入し調理作業に入る。例年5釜（5百人分）を用意し、点火前から集まった人たちに振る舞われる。アツアツの煮団子は、身体も心も温める。親子連れやカップルなど、多くの笑顔を見ると作業の疲れが癒される。

社務所の前では獅子舞が奉納され、笛や太鼓の音は祭り気分を盛り上げる。2基の薪山は争うように燃え盛り天神の杜を照らす。幻想的な光景に、遠巻きにした人たちからは歓声が上がった。煮団子は午後7時半過ぎには5百人分を全て配り終えた。



幻想的に燃え盛り2基の篝火



煮団子を配るテントの前には長蛇の列